

開催年月日 令和4年6月29日（水）

質問者 日本共産党 宮川 潤 委員

答弁者 知 事 鈴木 直道

質 問 内 容	答 弁 内 容
<p><b>一 地域医療構想について</b></p> <p><b>(一) コロナ受け入れで明らかになった役割について</b></p> <p>各部審査で公立公的医療機関について取り上げ、「救急・小児・周産期などの政策医療」の他、新型コロナウイルス入院患者の受け入れなど、地域の医療を支える中核として重要な役割を担っていることが、改めて明らかになったものと認識している」と部長から答弁をいただきました。</p> <p>公立公的医療機関の役割について「あらためて明らかになった」認識とはどういうものか、まず、お示しください。</p> <p><b>(二) 統廃合の撤回について</b></p> <p>その重要な役割を担っている公立・公的病院が、統廃合の対象として医療機関の名指しをしたという問題なんですけれども、道は、54病院について統廃合の対象とみなしていないなら、そのことを明確に発信し、地域と患者、病院関係者を安心させるべきだと考えますけれども、そのお考えはありますか。</p> <p>国に対して撤回を求めるべきではありませんか、伺います。</p> <p>道の取組方針を示しているとのことでありますが、統廃合の対象として名前を挙げられた衝撃が非常に強かったため、今も住民の間には、不安が渦巻いているというのが実態であり、それを払拭すると同時に北海道が信頼されるための一番の方法は、国に撤回を申し入れることであり、知事の勇気ある行動に期待したいと思います。</p> <p><b>(三) 公立公的病院役割の最適化と役割強化について</b></p> <p>3月29日付総務省自治財政局長通知「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」が発せられていることを各部審査で申し上げました。</p> <p>病院間の「役割・機能の最適化と連携強化」をどうはかっていくのか。公立公的病院の存在と役割をより生かすことが重要ではないかと考えますがいかがか、知事のご見解をうかがいます。</p>	<p><b>【知事】</b></p> <p>公立、公的医療機関の役割についてであります。公立・公的医療機関は、これまでも救急や小児、周産期などの政策医療を担ってきている中、今般の新型コロナウイルス感染症への対応に際しても、積極的に入院患者を受け入れ、ワクチンの接種を進めるなど、身近な地域において医療を支える中核として、道民の皆様方の命と健康を守る上で、重要な役割を担っていただいていることを私としても、改めて認識をしたところであります。</p> <p><b>【知事】</b></p> <p>地域医療構想の推進に向けた考え方についてありますが、国が示した公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証などについては、地域において議論を進める際の参考資料の一つであり、道としては、国が再検証の対象とした医療機関であるかどうかにかかわらず、公立・公的・民間の各医療機関が今後担うべき役割について、圏域ごとの調整会議において、議論を深めていくことが重要と考えております。</p> <p>また、こうした考えについては、毎年度策定している地域医療構想に係る道の取組方針に明記し、各圏域の医療関係者の方々はもとより、医療を受ける立場の方々などにもお示ししているところでございます。</p> <p><b>【知事】</b></p> <p>公立、公的医療機関の役割などについてありますが、公立・公的医療機関は、地域に欠くことのできない救急、小児、周産期などの政策医療を担ってきたことに加え、今般の感染症への対応においても、各圏域の中核病院としての役割を果たしていただいております。</p> <p>このため、今後の医療提供体制の構築に向けては、新興感染症への対応を含め、これまで以上に公立・公的医療機関と民間の医療機関とが適切な役割分担と強力な連携の下、圏域全体で必要な医療を確保していくことが不可欠であります。</p> <p>道としては、今後とも、圏域ごとの調整会議の場を通じ、地域の関係者の皆様方から、丁寧にご意見を伺いながら、それぞれの地域の将来を見据え、公</p>

質 問 内 容	答 弁 内 容
<p>総務省通知では、「赤字解消」から「経営強化」へ変わりました。</p> <p>また、「再編ネットワーク化」の文言が消えました。公立病院どうあるべきかという位置づけの変化に繋がるかもしれないと思っています。</p> <p>54病院統廃合の撤回を求めるものでありますけれども、知事におかれましては、地域医療の充実に一層力を入れて取り組むことを求めたいと思います。</p>	<p>立・公的医療機関も含めた医療機能の分化・連携について、一層の議論を深め、地域医療の確保に取り組んでまいります。</p>